

海南民報

日本共産党海南市議会議員団



和歌まきこ はしづめ美恵子 岡よしあき せとう幸生

高齢者の安心、安全な 移動手段を求める

運転免許証を返納する高齢者が毎年増えています。自治体には、市民の移動手段を確保する役割があります。

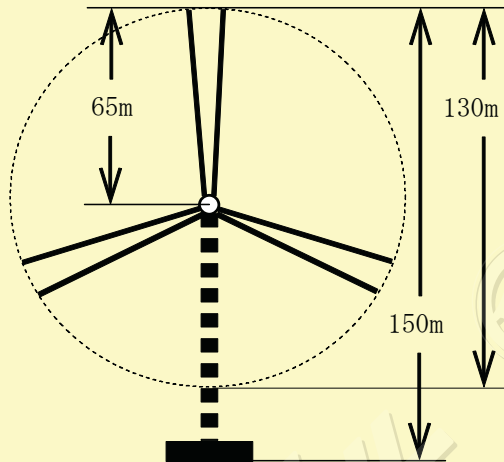
市内は狭い道路が多く、コミュニティバスだけでは十分と言えません。地域の実態に合ったデマンド式（予約制）の小型車両を走らせることを提案しました。当局は「利用者や、地区、バス事業者、国・県などと協議し、デマンド方式が可能か検討したい」と答えました。

引き続き、高齢者が安心して買い物や病院にも行けるよう頑張ります。（和歌）

「巨大風力発電」 住民とともに反対を

現在計画中の巨大風力発電事業は二つに分社化され、本市に係わる「（仮称）海南・紀美野風力発電事業」は、15基程の心配などで反対

度だが、最大4500キロワットという巨大な大きさは変わりません。地元では「健康被害、環境破壊の心配などで反対



この円の大きさは、甲子園球場のグラウンドの大きさ（1.3ha）に相当します。

下津町に「道の駅」建設予定 地域の活性につなげよう

下津町小南地域の国道42号と、新たに建設中の有田・海南バイパスに沿って「道の駅」の建設計画があります。

「バイパスができてさびれた」ということがないように、「道の駅」は一つの期待できる方策として歓迎します。市民から知恵や力を借りて協働することが大切ではないでしょうか。

（はしづめ）

訪問介護事業所の経営をまもる

介護保険制度は、利用するのに困難な制度に変えられてきましたが、行政側が主体的に、高齢者をまもる立場に立たなければ、介護人口が急増する「2025年問題」に対処できなくなります。

現在、要支援者を報酬の低い無資格者などが行なう「※総合事業」への切り替えがすすめられています。しかし、報酬が引き下げられても、有資格者のサービスの提供を継続して提供

している「訪問介護事業所」の事業状況を明らかにするとともに、要介護者の「生活援助の回数制限」について質問しました。

当局は「回数制限については『地域ケア会議』（今年10月より）において、ケアマネージャーが提出した『生活援助の回数』が適切かの審査を行うが、必要なものについては規制しないと解答しました。

※総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）は、無資格者や有償ボランティアが行うサービスを前提としているために報酬は低い

（せとう）



の声が圧倒的であり、「住民とともに反対すべきではないか」と質問しました。

市は「すでに稼働している風力発電と相互的な影響について検討する必要がありますが、地域の実状に

あつた具体的な事業計画に基づき十分な説明を行うよう意見を述べていく」と答えました。

（はしづめ）

（はしづめ）

「核兵器廃絶平和宣言都市」

生かし発展を

昭和20年夏、広島・長崎への原爆が投下から72年経った昨年7月に、「核兵器禁止条約」が国連で採択されました。また同年12月、海南市議会でも「核兵器廃絶平和都市宣言」が全会一致で採択され、意義深い歴史の一つを刻みました。そこで「平和宣言都市」としての市長の所見を問いました。

市民代表の派遣、「(仮称)市民交流施設」を活用した、核兵器廃絶・平和にかかわる特設コーナー

の設置など提案。教育委員会は「交流施設」の活用については、「今後の運営方針等を検討する中で取り組んでいきたい」と答えました。(岡)

世界の恒久平和は人類共通の願いであるとともに、世界唯一の被爆国である我が国においては、特に核兵器の廃絶は等しく願うところである。

今般の本宣言を契機として、あらゆる国の非核と不戦の願いをかためるべく、議員の皆様方の理解と協力をいただきながら、さまざまな機会を捉えて核兵器廃絶と、戦争の悲惨さ、平和の尊さを発信していく必要があると考えている。

今後この宣言を、市民とともに生かし発展させることが大切です。広島・長崎平和式典に

(神出市長の所見)

共産党市議団 条例改正に異議あり反対!!

- 「温山荘プール」 市民の声 全く聴かず来年度廃止へ
- 「海南スポーツセンター」直営から指定管理者まかせに

■太陽と風を感じながら楽しめる野外プールは貴重です。「温山荘プール」は、夏場だけでも一万人もの入場があり、「小さな子どもの水遊びも安心できる」と好評でした。

ところが、老朽化を理由に廃止する議案がだされ、共産党市議団は反対しましたが賛成多数で可決しました。

この問題は、市民や利用者の声を聞くことなく、「市政懇談会」の場でも全く知らされなかったことです。こんな形で、市民の財産や楽しみを奪って

よいのでしょうか。

■海南スポーツセンターの利用率を上げるために、「指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活用する」という条例改正が提案され、賛成多数で可決されました。しかし、よりよい施設運営を行なうには、利用者や市民の意見を取り入れることが大切です。「指定管理者頼みでなく、市民本位の運営に発展させるべきである」と反対しました。

学校などのブロック塀の緊急点検/早急対策を要請

緊急調査結果

■緊急質問を行ないました
大阪府北部地域の震災で、高槻市立寿栄小学校のプールの外壁が倒れ、小学校4年生の女児の命が奪われました。海南市でも緊急点検と早急な対策をとるよう質問しました。(岡)

海南市立、幼・小・中・高のブロック塀調査

▼「高さ2.2mを超すもの」「控壁(補強)が無いもの」など、建築基準法に抵触すると思われるもの31箇所確認。

▼「鉄筋の有無が明らかでないもの」4箇所。合計35箇所が判明。

※保育所/こども園は調査対象のブロック塀は無し

重根メガソーラー建設問題

市は住民側に立っての対策を

開発事業者から、建設計画が具体的に説明されるようになり、地元や下流域の方々から一層強く反対する声が上がっています。

見書の内容を確認するとともに、県が制定した「太陽光発電事業の実施に関する条例」は、「林地開発許可申請」よりも、開発事業者への規制が強められ、地域外の住民でも意見を言えるようになっていくことを明らかにさせました。(せとう)

「市は、住民の心配を受け止め、事業者に対応せよ」と求めました。今回の質問は、「林地開発許可」について、市から県に出された意

見書の内容を確認するとともに、県が制定した「太陽光発電事業の実施に関する条例」は、「林地開発許可申請」よりも、開発事業者への規制が強められ、地域外の住民でも意見を言えるようになっていくことを明らかにさせました。(せとう)